

今回は入社3年目を迎えて、活躍の場をどんどん広げている
4人の先輩たちに集ってもらい、話を伺いました。



Q この仕事を選んで良かったと思えた瞬間はありましたか？

Yさん：やっぱり自分が描いた施工図をもとに完成した建物を生で見たときが一番感動するんじゃない。



Fさん：そうだね。工事現場を回ったとき、私が描いた図面通りに作られていたのを見たときは喜びと達成感に浸れたな。

Jさん：図面を描いているだけでスケール感が分からないよね。完成したものを初めて見たときは「俺は、こんなに大きなもの

を描いていたのか!」って驚いたよ。

Yさん：工事現場に出ると、学びもたくさんあるよね。寸法の書き方や線の引き方も、どうしたら職人さんが作業しやすくなるか考えるようになったし。

Fさん：私も初めて工事現場を回ったときは、勉強する絶好の機会だと思ってバシバシ写真を撮ったな。

Fさん：みんなは職人さんと直接話す機会ってある？

Jさん：うん。僕の現場では1年目から図面を描きながら工事現場にも出てたし、休憩時間に職人さんと話す機会も多いから仲良くしていただいているよ。

Fさん：職人さんとコミュニケーションを取れるのはいいよね。私が職人さんたちと接するのは、けんせつ小町(建築業に関わる女性の愛称)の活動のときかな。私の現場ではいろいろな活動を行っていて、夏場には熱中症対策としてスポーツドリ

ンクを職人さんに配って回ったよ。事務所にこもって一日中図面を描いているなか、たまに外に出て職人さんたちと接するのは気分転換になるし、「ありがとう」と言われるとやっぱり嬉しいよね。

Q 仕事がつらいと感じるのはどんな瞬間ですか？

Nさん：僕は、図面の修正指示を受けた際、修正してチェックが済んで完璧だ!と提出したら、「こんなこともできないのか!」って突っ返されたときは落ち込んだな…。指示する側の意図と僕の認識が違ったんだよね。



Yさん：忙しいときは、相手の意図をしっかり汲み取ることが必要な場面もあるよね。そういった場面って、みんなはどうやって対応してる？僕は自分の関係ない話でも、周囲がどういう話をしているか常に聞き耳を立てていたよ。



Jさん：僕も他の人が話していることを盗み聞きして、知らない単語があればすぐに調べていたよ。その結果、話の内容を理解できたり、現場の流れを把握できたりして現場での処世術が少しずつ身についてきたような気がする。

Fさん：わからないことは常に書き留めて、時間が空いたときに先輩に聞いたり自分で調べたりを積み重ねていけば、自分の成長を感じられる瞬間が訪れると思う。

Nさん：書き留めることは大事だよ。僕の場合、自分が失敗したら必ずメモを取り、時間があるときに見返しては、同じ

ミスをしない方法を考えているよ。

Jさん：普段から知識を蓄えて先手を打つのは大事だよ。

Fさん：他につらいことは、小さなミスがなかなか無くならないこと。図面を描くのはものすごく細かい作業だから、見落としや描き間違いをゼロにするのは至難のワザ。

Jさん：もしも誤った施工図が職人さんの手に渡ってしまったら、誤ったものを作ってしまう。そうすると作り直しになるし、無駄なコストも発生して大変！

Fさん：そして責任を負うのは上司になっちゃうからね。自分の失敗のせいでいつも温かく指導してくれる上司に迷惑をかけてしまうのはつらいよね。

Yさん：チェックは怠れない仕事だよ。今後入社する後輩たちにも、口酸っぱく言い続けていきたいな。

Q 今後のビジョンは？

Nさん：まずは一級建築士になること。すでに学校に申し込んで、テキストも到着済み。今は教材をスマホに取り込んで、隙間時間に勉強してるよ。

Fさん：一級建築士に合格したらお祝い金も出るから、モチベーションも上がるよね。

Nさん：お祝い金は50万円だからね！ただ、個人的には一級建築士を取って初めてスタートラインに立てると思っているから、将来のために絶対に取りたい。

Yさん：今はBIMの仕事をしていて、今後も続けていきたい。池下設計は今、BIMに力を入れているからチャンスはたくさんあると思っているよ。



Jさん：学生の頃は、設計図だけで建物が建つと思っていたんだけど、実際は設計図だけでは建たないことがこの仕事で分かった。これからは現場の方が仕事を進めやすいように設計図を最善の施工図に変えていくことが目標かな。自分で調べつつ先輩に聞いたり、実物を見ながら地道に習得していくつもり。つらいことも少なくないけど、その分やりがいがある仕事なので頑張るよ！

＼キャリアも設計しよう！

キャリア
アップ！

Career Design

入社後は、図面の修正など簡単な業務を通じ、設計図書の見方と作図の基本を身につけます。

その後は現場で業務を行い、30歳前後まで建築技術を磨きます。

一通りの技術力を身につけた後は、社内に戻って、設計課もしくは営業課で勤務する予定です。

これは現場では学ぶことのできない池下設計の業務を覚えてもらうためです。

そして、その後は希望にあわせ、もう一度現場で技術者として活躍する道と

社内にとどまって、勤務する道に分かれます。

新人社員



入社

- ・新入社員研修
- ・設計図書の見方
- ・作図の基本

サブチーフ



入社～30歳前後 現場

- ・施工図
- ・施工管理
- ・実施設計

チーフ



社内

- ・営業課
- ・設計課

マネージャー



社内or現場

- ・営業(社内)
- ・技術者(現場)